社長令嬢復讐日記の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	社長令嬢復讐日記の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	社長令嬢復讐日記を読んだことのある10代～50代の男女96名
調査期間	2025年5月3日～2025年5月6日 2025年5月30日 2025年6月27日 2025年7月25日 2025年8月29日 2025年9月26日 2025年10月31日 2025年11月30日 2025年12月26日 2026年1月26日 2026年2月1日 2026年2月27日 2026年3月27日 2026年5月21日 2026年5月29日 2026年6月26日 2026年7月31日 2026年8月28日 2026年9月25日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/syatyoureizyouhukusyuunikki/

■アンケート項目

Q1：年代と性別を教えて下さい。
Q2：社長令嬢復讐日記を実際に読んだ感想を教えて下さい。

Q1：年代と性別を教えて下さい。

10代男性	1人
10代女性	0人

20代男性	0人
20代女性	3人
30代男性	55人
30代女性	3人
40代男性	15人
40代女性	16人
50代男性	1人
50代女性	0人

Q2:社長令嬢復讐日記の感想を教えて下さい。

『社長令嬢復讐日記』1巻	ゆうたに酷いことをしている3人の言動がひどすぎて、ラストに登場した、彼らを雑草呼ばわりしている美少女の手で迅速に排除してほしいと思わずにいられません。校内で直接的な暴力を振るうだけにとどまらず、無関係の他人にお金を払ってゆうたを痴漢に仕立て上げたり、妹にまで暴行したりとあまりの鬼畜さに背筋が寒くなりました。特に、同じ年代の女の子であるゆきが気も狂わんばかりに泣き叫んでいる様子を笑いながら撮影しているアリサの気持ちが一番理解できないと思いました。
『社長令嬢復讐日記』1巻	ゆうたは裕福では無い家庭でありながらも、大好きな妹と仲良く生活する姿にほっこりしました。表では周りから尊敬されている生徒会長や、お金持ちの女子生徒に酷いことを受けるゆうたが可哀想だったし、その姿を見て高笑いをする子に驚きました。唯一の心の拠り所であった妹がそれらによって襲われてしまった時は憤りを感じました。
『社長令嬢復讐日記』2巻	たくまの設定がとてもいかがわしい感じですね。高校生でありながら実業家の一面もあって周りからチヤホヤされているのが本当に滑稽ですね。自分の立場に酔っている感じで見ていて腹が立つこと間違いなしです。でもそんなたくまを最初のターゲットとしてロックオンした美玲の言動がとても気になります。これからどんな復讐をたくまに与えられるのか楽しみです。
『社長令嬢復讐日記』2巻	クラスメイト3人から酷い目にあっていたゆうたは、その危害が可愛い妹にまで及んだことをきっかけに教室で倒れてしまい、保健室に連れて行ってくれた美玲から初めて友人と言われたことに驚いてしまうところに、悲惨さを物語っている気がしました。そして、世直しのために転校してきた美玲によって、本来なら高校生実業家として注目されるべきパーティで、たくまが参加者から侮蔑の目で見られるところにスッキリしました。
『社長令嬢復讐日記』3巻	本当にたくまの滑稽さがめちゃくちゃ面白いですね。学校ではあれだけ鼻息荒く大きな態度だったのに、いざ投資家の前だとあれだけ人が変わってしまうものでしょうか。すごく見ていて爽快で楽しめましたね。あと美玲の有能さもめちゃくちゃ目立ちましたし本当にたくまへのダメージの与え方がすごく上手くて気持ちいいですね。やっぱり復讐はとても面白いです。
『社長令嬢復讐日記』3巻	3人組のうち、まず最初に美玲によって排除されたのはたくまでした。その手段は彼の化けの皮を多くの人の前で剥がすという真っ当なもので、その後の両親とのやり取りも含めてまさにたくまの自業自得な展開でスカッとしました。残るアリサと修二はもちろんのこと、気付いているのに無視している担任の先生にも美玲の鉄槌が下されてほしいと思います。
『社長令嬢復讐日記』4巻	アリサというターゲットに移り美玲が行動を起こしていく姿がとても面白かったですね。個人的にアリサの間抜けっぷりが最高です。コスメブランドのアンバサダーになったからと有頂天になり調子に乗っているのが滑稽でした。全ては美玲の策略なのにそのことを全く想定していないのが本当にダメダメですね。美玲のうまいところは復讐と悟られないようにある程度ターゲットを泳がせるところですね。

『社長令嬢復讐日記』4巻	アリサというインフルエンサーがターゲットとなったこのエピソードでは、アリサの裏の顔の恐ろしさを実感できるような場面が多かったのが印象的でした。ただこの作品では悪い奴が成敗される運命にあるので、もちろんアリサも例外ではありません。ラストシーンではアリサをピンチに追いやるような展開があり、読んでてかなりスッキリした気持ちになれました。
『社長令嬢復讐日記』5巻	いよいよアリサもどん底に突き落とされてスカッとしたのですが、修二という強敵がまだ残っているのが不安です。そして美玲にもとへゆうたも加わり、これからチームとして悪を成敗していくのかと思うとワクワクしてきました。ゆうたは妹の仇を取る名目もあるので、彼ならやってくれると信じています。修二はアリサがやられている姿を見て警戒しているはずなので、二人がどう突破していくのか気になるところです。
『社長令嬢復讐日記』5巻	人気インフルエンサーであり、一応表向きは優しい人物というキャラクターで通っているアリサ。そのアリサの醜悪で苦々しい表情に少しだけスッキリしました。それもそのはず、全国にもうキャラクターがバレてしまっているわけなので、もう本性を隠しても仕方ないんですよね。そんな状態のアリサに声をかけてくれた優しい女子生徒を追い払うところからも、性格が終わってるなぁと思います。もっとアリサが地獄に堕ちてほしいなとワクワクできる巻でした。
『社長令嬢復讐日記』6巻	たくまの時と同じように、今度はメディアの取材も入るらしい全校生徒集会という舞台で修二の裏の顔を大々的に知らしめようとした美玲とゆうたですが、生徒会長として揺るぎない信頼を勝ち得ている修二の言い分をみんなアッサリ信じてしまい、作戦が不発に終わってとても悔しく感じました。しかもアリサにすべての罪をなすりつけるというやり方が卑怯すぎるので、逆にたくまやアリサに修二が告発されるような展開になったら良いなと思いました。
『社長令嬢復讐日記』6巻	美玲はいよいよ修二への復讐を始めるのですが、修二も狡猾な性格をしているので、上手くその復讐をかわしていくところが緊張感たっぷりで面白かったです。もちろん修二は成敗されてほしいですが、最終対決みたいな雰囲気があってワクワクしながら見ていました。美玲とゆうたは次にどんな手を打って、修二はどう対応してくるのか注目していきたいです。
『社長令嬢復讐日記』7巻	ハッキリとしたシーンを見ているのに、何もできない養護教諭にがっかりしました。それだけ修二の影響力が強いということなのでしょうが、残念です。でも、これがゆうたが今まで過ごしてきた現実なんだなぁというのを、改めて痛感させられます。先生ですら味方になってくれない中で頑張ってきたので、常に冷静な美玲が仲間になってくれて本当に良かったです。
『社長令嬢復讐日記』7巻	修二は生徒会長の立場をいかして、周りを騙しながらゆうたを追い詰めるという鬼畜さを見せつけてきてビックリしました。先生まで手玉にとり、どんどん修二のテリトリーが広がっていくのを感じます。それに対してゆうたと美玲では無謀な戦いのように見えるので、読んでて絶望感が沸き上がってきました。しかし、美玲の知能の高さは半端じゃないのでこれから巻き返してくれることを期待しています。
『社長令嬢復讐日記』8巻	美玲たちもいよいよ絶対絶命かと思いきや、アリサから情報を聞き出すという機転をきかせたので、流石美玲だと感心しました。その結果として修二と遠藤先生のスキャンダルを発見し、いよいよ反撃ができそうでワクワクします。修二はまだ成敗できそうにないですが、美玲は恐らく遠藤先生をターゲットにしそうなので、このまま順調に成敗してほしいです。
『社長令嬢復讐日記』8巻	本当に担任の遠藤は何にもしませんね。美玲が酷いことをされているというのに見て見ぬ振りという教師とは思えない行動が目立ちます。でもある種、人間らしいというかリアリティを強く実感できたのでその点では良かったと思いました。美玲の姿がとにかく気になりますね。全く心が腐らないメンタルを自分にも少し分けて欲しいくらいですね。
『社長令嬢復讐日記』9巻	美玲の罠にまんまとハマってしまう遠藤先生にざまぁみろと言いたくなるエピソードでした。遠藤先生も対抗策を出そうとしますが、常に美玲の方が一歩先を行っているのがカッコ良かったです。遠藤先生も無事に成敗し、いよいよ修二を追い詰めるターンになると思うのですがまだ一筋縄ではいかない気がします。美玲がパーティーに潜入し、どう展開していくのか不安とワクワクが膨らみます。

『社長令嬢復讐日記』9巻	美玲の言動にはちゃんと一貫性があるのが素晴らしいですね。目的のためだったら、どんな行為でも厭わない感じが目立つのでめちゃクチャ格好いいです。遠藤がまんまと美玲の色気に惑わされて墓穴を掘る場面は必見です。間抜けだとは思っていましたが、あそこまで間抜けとは予想外でした。あっさりと美玲側についてくれて良かったですね。
『社長令嬢復讐日記』10巻	いよいよ美玲と修二の最終対決が始まり、終始興奮が止まらないエピソードでした。美玲の方が一枚上手で、修二がどんどん追い詰められていく様子にスカッとします。全ては美玲の計画通りのシチュエーションで進んでおり、修二がやらかしている姿も配信されているので、心の底からざまぁみろと言いたくなりました。ただ修二が自暴自棄になって、何をしでかすかわからないので続きが気になります。
『社長令嬢復讐日記』10巻	本当に修二とのバトルはとても面白いですね。生徒会長なので頭がいいのですが詰めが甘い時もあって、そこが美玲の狙いどころだったのでしょうね。乱行パーティを利用して修二を追い詰めた美玲の姿にとてもドキドキしました。やっぱり美玲の方が一枚も二枚も上手だと思いましたね。それくらいこのエピソードは読み応えがありました。
『社長令嬢復讐日記』11巻	暴力で抗おうとした修二にも冷静に対応する美玲がめちゃくちゃカッコ良かったです。修二は美玲に対してだけではなく、多くの人に迷惑をかけてきたからこそ当然の末路だと思いました。そしてゆうたも登場し、修二はいよいよ本当の裁きを下されるときがやってきます。今までの美玲とゆうたの苦労が報われて、一気に安心できるエピソードで良かったと思います。
『社長令嬢復讐日記』11巻	修二が美玲の策略にはまり失墜してしまう場面が爽快ですね。今までの生徒会長という厳かなイメージがまるっきり覆ってしまうので修二にとってこれほどのダメージはないと思います。でもそれだけの行いを修二はゆうたにしてきたと思うので同情はできませんね。最終的に美玲が勝ってくれてかなりのカタルシスを感じることができました。
『社長令嬢復讐日記』12巻	本当にこのエピソードは今までの思いが強く溢れましたね。ゆうたが斧を片手に修二に詰め寄っているのがとても興味深く写りました。やっぱり酷いことをするというのは何も生まないものですね。酷いことをされたものだけが感じる独特の感情がゆうたの顔に溢れていて、すごく気になりましたね。修二のことを復讐として傷つけているのですが、ゆうたが何も幸せそうではないところがかなり印象的でした。
『社長令嬢復讐日記』12巻	本当にこの作品はキャラクターたちの感情表現がうますぎますね。ひどい目にあってしまったことが原因でゆうたは性格までもが歪められてしまい家族も傷つけられて本当に悲しみを背負って生きてきたということが強く伝わってきたので興味深かったですね。よって修二が脚を傷つけられて痛みに苦しむ姿にいろんなものが凝縮されているように思います。
『社長令嬢復讐日記』13巻	現実に森田のようなパワハラ社員がいそうで見ていて腹が立ちますね。竹田の言動が気に食わないのかわかりませんがあんなに邪険にされたら、できる仕事もできなくなるのは当たり前です。社内の空気を乱した存在というのはまさしく森田のような存在を言うのでしょうね。美玲がその場面にいち早く気がつき対応している姿がとても格好いいですね。
『社長令嬢復讐日記』13巻	本当にこのエピソードを見ているとパワハラというのが悪でしかないということがわかりますね。ここまでされたら会社に行くのも嫌になるくらいです。竹田さんにすごく感情移入してしまいましたね。彼は別に何もミスを犯していないのに森田がしつこく絡むから普通の力が発揮できないだけだとすぐにわかりました。やはり風通しの良い職場が一番ですね。
『社長令嬢復讐日記』14巻	作中に出てくる竹田の姿がとてもいいですね。森田がいなくなったことで社内の風通しが良くなりプレゼンでものびのびとできているのが印象的です。やっぱり嫌な人間が近くにいないとそれだけで気持ちというものは変わるんだということを強く実感できましたね。その環境を作ってくれたのは紛れもなく美玲なので彼女は本当に素晴らしい女性です。
『社長令嬢復讐日記』14巻	作中、女社長が登場するのですが彼女のミステリアスな雰囲気に少し飲まれてしまいました。美玲とちょっと似た要素がある感じで一筋縄ではいかない雰囲気をめちゃくちゃ感じられますね。でも同時にすごく色気があって魅力的なのでそこにも注目して欲しいです。彼女が社長だったらある程度のことだったら我慢してしまいそうで少し怖いですね。

『社長令嬢復讐日記』15巻	美玲がついに動き出しますが、あの以前出てきたあのキャラが出てくるようで、どんな話になるのか楽しみです。まだまだ社長を陥れるような証拠は集まっていないので、これからどんな証拠集めをするのかワクワクします。
『社長令嬢復讐日記』15巻	社長の社員に対する態度が強すぎです。次はお前だと言わんばかりの圧のかけ方でしたが、それを社員が気づいていないのも怖い。終始笑顔で社員を脅す美玲も怖い。
『社長令嬢復讐日記』16巻	まさか父親まで出てくるとは。社長と美玲のバチバチとした静かな戦いがたまりませんね。美玲が追い詰められてしまうような状況もありそうでハラハラします。美玲の素性もバレていそうですし、この先どうなるのか期待です！
『社長令嬢復讐日記』16巻	この手の漫画って、社長でも馬鹿なキャラが多いですが、本来一つの会社を経営している社長はもっと頭が良くてもおかしくないんですよね。その点、この女社長はなかなかやり手です。美玲の水面下での動きも把握していて、あの手この手でやり返そうとしてきます。最終的には社長が陥れられるのでしょうが、どこまで美玲と張り合えるのか楽しみです。
『社長令嬢復讐日記』17巻	社長の作戦が止まりません。美玲をドンドン追い詰めていきます。ただ、美玲は追い詰められているように見せて、社長を密かに追い詰めていそうです。そろそろ社長に対する復讐が始まりそうでワクワクします。
『社長令嬢復讐日記』17巻	美玲の様子を見に行ったと思いきや、やりあえされてしまった仕返しとして七味をかけるとは。なんとも稚拙なやり方です。だけどそんな嫌がらせに対して動じず、七味のかかった料理を食べる美玲がシュールでした。
『社長令嬢復讐日記』18巻	森田が社長になっているとは。そんな森田に対してまた社長が仕掛けてきます。ですが、森田ももうやられているわけではないです。ようやく役者が揃ったという感じで、復讐が始まりそうで楽しみです。
『社長令嬢復讐日記』18巻	とうとう始まる社長への復讐。18巻ではまだ始まっていませんが、美玲が登場したことで物語が大きく動き出しそうです。
『社長令嬢復讐日記』19巻	社長は全然認めないですね。美玲が少しずつ追い込んでいきますが、大きい態度は変わりません。さすがこれまで数々の不正を隠してきただけあります。この社長がどのような最後を迎えるか楽しみです。
『社長令嬢復讐日記』19巻	ここまで来たら、もうあと少しですね。あと一つでも証拠を突きつければ、一気に形勢が逆転しそうです。そうなったとき、社長がどんな風に慌てふためくのか。命乞いをするのかもみものですね。
『社長令嬢復讐日記』20巻	とうとう社長が痛い目にあいました。あんな終わり方だったのは少し意外ですね。そういえば、1回目の復讐のときも最後は物理的に復讐してましたから、そういう感じが続くのでしょうか。次はもっと変わった復讐の仕方もみたいですね。
『社長令嬢復讐日記』20巻	社長への復讐が終わり、次は美玲が学生だった頃の話が描かれそうです。なぜ美玲がここまで雑草の掃除にこだわるようになったのか、ここまで有能な人間になったのか明かされていきそうで、ワクワクします。
『社長令嬢復讐日記』21巻	美玲の破壊衝動が気になります。なんのためにしているのか、なぜ父親はアレでいいと思っているのか、謎が深まるばかりです。しかも壊したものを使って、なにかカチャカチャしていましたし、なにかを作っているのでしょうか？あの物を壊すことの意味が気になります。
『社長令嬢復讐日記』21巻	以前の修二との対決シーンなどから、美玲が見た目通りのおしとやかでか弱いご令嬢ではないことは分かっていましたが、まさか物理的な破壊衝動を内に秘めていたとは予想外で、かなりびっくりしました。それに対する父親のリアクションも驚かされるものでしたし、一体彼女の過去にどんな秘密が隠されているのか、非常に興味をかきたてられました。
『社長令嬢復讐日記』21巻	20巻で一条社長への復讐が完了して、21巻からは過去に戻り再び学校にはびこる雑草を駆除する話が始まりました。どうやら今回のターゲットはテニス部の顧問の坂上先生のようですが、きちんと名前が出ているあたり、クラスメイトの咲という女の子も関わってきそうなので、どんなエピソードになるのか楽しみです。すでに遠藤先生という教師にあるまじき行いをする人物が出てきているので、坂上先生はまた違ったタイプだと思われますが、どんな人間性なのかはやく知りたくな

	りました。
『社長令嬢復讐日記』22巻	部長は見たまんまのクズですね。これからどのように復讐されるのか楽しみです。さらに巻末のあの儀式はなんなのか。新しい章に入って、いろんな謎が増えているので、一気に謎がわかるのが楽しみですね。あと、美玲がご飯を食べて、口をもくもくさせているシーンが可愛かったです。
社長令嬢復讐日記　22巻	美玲は部長の美月に優しくて人望があり、理想の部長だと話していたのに、美月に2、3年生がよくない目で見ていることに気づいていた事に驚きました。優しいと思っていた部長が裏の顔を持っていたことにショックを受けたし、咲が大事にしていた父が買ってくれたラケットを、理事長の娘である部長に無理やり奪われたシーンは悲しくなりました。
社長令嬢復讐日記　22巻	美玲と彼女の父親がいかにもオカルトチックな儀式を始めたシーンには驚かされました。美玲の破壊衝動となにか関係があるのか、気になります。また、坂上先生だけでなく部長の美月もテニス部の「雑草」のようで、美月と坂上先生にはなにか繋がりがあるのかなと思いました。また、美月が表向き良い人を装っているところはまさにかつて登場した修二のようで、人間不信に陥りそうだと感じました。
社長令嬢復讐日記　23巻	美玲が雑草を駆除しているのは、父親からの教えによるものらしいことが判明しましたが、破壊衝動を人助けのために使うというところまではナルホドと思えたものの、その後に続けられた手段は問わない云々という部分はちょっと苛烈すぎて、なぜ美玲の父親はそんなふうに考えるようになったのだろう？とますます謎が深まりました。わざわざロウソクを用意してスピリチュアルな感じにしている理由も分からなかったですし、早乙女家についてもっと知りたくなりました。
『社長令嬢復讐日記』23巻	美玲の儀式でなにか特別なことをするのかと思いきや、ただはなしているだけでした。ちょっと残念。そしてどんどんあらわになる部長や坂上のクズな行為。美玲の表情も変わりましたし、そろそろ復讐展開になってスッキリしそうです。
『社長令嬢復讐日記』24巻	隠す気のない八百長がやばすぎです。現実でもこんな八百長はありそうですね。さらに、24巻では歪みすぎた部長の性格も判明しました。美玲はそんな部長の標的となってしまいますが、これでより復讐されたときの反動が大きくなりそうです。
社長令嬢復讐日記　24巻	勝つために審判に賄賂を渡すという手段を取る美月部長と坂上先生がおかしいのはもちろんですが、賄賂を受け取って不正を了承する審判も充分おかしいと思うので、正々堂々戦うべきスポーツマンとは思えないモラルの崩壊っぷりに愕然としました。当然そんな「雑草」たちを美玲が見過ごすはずもなく、さっそく復讐のための準備がはじまりましたが、いったいどんな方法で彼らを痛い目にあわせるのか、ワクワクしてきました。
社長令嬢復讐日記　24巻	ずいぶん年下の女の子である美月部長にアゴで使われていることから察するに、美月部長よりも坂上先生のほうが「雑草」としては明らかに小物なので、先に坂上先生のほうから切り崩していく美玲の作戦には納得がいきました。また、自らに美玲による裁きの手が迫っているなどとは露とも思っていないのだろう美月部長が、美玲をいじめのターゲットとしてロックオンしたシーンは、まるで道化のようだと思いました。
社長令嬢復讐日記　25巻	美月部長のおじいちゃんである理事長が坂上先生にお金を渡している映像を大勢の生徒や教師たちの前で公開するという手法は、遠藤先生や修二に対する復讐の際に使った手法と映像という点で共通しているので、やはり悪事を白日のもとにさらす方法として映像という誰が見ても分かる証拠は強いなとしみじみ感じました。次の巻で見れるだろう美月部長や坂上先生のリアクションはどんなものになるのか、楽しみです。
社長令嬢復讐日記　25巻	美月部長が美玲をいじめている様子を見て、自分で自分の首をしめているなぁと感じて、あとで強烈なしっぺ返しを食らうのにそうとも知らず愚かだなと思ってしまいました。ただ、美月部長の裏の顔を知っているテニス部員は少なくないと思われるので、まずはいじめや嫌がらせに関する証言や証人を集めて美月部長を告発するのかなと予想していたので、先に賄賂に関する映像を公開したのは少し意外でした。
『社長令嬢復讐日記』25巻	部長も部長なら、祖父も祖父です。家族はみんな雑草であり、すべてが美玲の粛清対象のようです。今後坂上も粛清されそうですし、26話で全員に対する復讐が終わりそうです。どんな復讐をするのか楽しみです。

『社長令嬢復讐日記』26巻	もっと理事長まで陥れてほしかったですね。なんか中途半端でした。部長ももっとひどい復讐をしたうえで、あの結末だったら良かったのですが、なんだか拍子抜けです。部長って2人の命を奪っていますし、あれくらいじゃだめでしょう。
社長令嬢復讐日記　26巻	もはや言い逃れなどできないほどの証拠を次々と提示することによって、姑息にも傷を浅く済ませようとした坂上先生にも、美月部長にも、きっちり因果応報の末路を迎えさせることができて、スカッとしました。だからと言って咲など美月部長に嫌がらせを受けた子たちの傷が完全に癒えるわけではないでしょうが、少しは気が晴れてくれれば良いなと思いました。
社長令嬢復讐日記　26巻	美月部長のおじいちゃんはなんといっても理事長という高い地位についているので、権力やお金に物を言わせて事態をもみ消そうとしたりともっと悪あがきするのではないかと予想していたので、わりとあっさり報復できて、少々驚かされました。美玲がバッチリ証拠映像を用意してくれたおかげで、坂上先生はトカゲのしっぽ切りとばかりに1人だけ責任をなすりつけられるようなことにならなかったので、彼はある意味美玲に感謝すべきではと思いました。
社長令嬢復讐日記　27巻	26巻で過去編は終わり、27巻からはまた大人になった美玲が主役のエピソードがスタートしましたが、今度は芸能界という華やかな世界の話ということで、復讐方法も派手なものになりそうな予感がしてワクワクしました。顔がかわいい子は周囲に優しくされているから素直な性格に育つと思っていたのですが、朱里はまったくそんなことはなく、現実のアイドルの実態も似たようなものだったらイヤだなとゾッとしてしまいました。
社長令嬢復讐日記　27巻	最も目立つ花形のポジションから蹴落とされてしまったことを恨んで、元センターの未来が現在センターの朱里に嫌がらせをしているのならその気持ちも理解できるのですが、なぜ栄光を手にした朱里のほうが未来をいじめるのか、ちょっと共感できないなと感じてしまいました。朱里は未来をつぶすよりも、センターの地位を彼女に奪い返されないように、自分磨きをすれば良いのにと思いました。
『社長令嬢復讐日記』27巻	けっこうリアルな話でしたね。アイドルなんてバチバチでしょうし、あれくらい日常茶飯事でありそう。しかも、人気投票1位と2位が一緒になっているのもひどい話ですね。ほんと汚いグループ。早く復讐されてほしいところです。
『社長令嬢復讐日記』28巻	かなり胸糞な展開が続きます。未来は本当に亡くなってしまったのでしょうか。美玲が放置しているとも思えないのですが、実は助けているなんてことがあればいいですね。
社長令嬢復讐日記　28巻	同じアイドルグループのメンバーからの扱いも良くないのに、さらにプロデューサーからもひどい仕打ちを受けて、とうとう耐え切れずビルから飛び降りてしまった未来の心情を思うと、かわいそうすぎて胸が痛くなりました。現実でもアイドルが精神的に病んでしまったというニュースを聞いたことがあるので、本当にこういった非道が行われているのかもしれないなと思いました。
『社長令嬢復讐日記』29巻	かなり性格の悪い女たちなので、さっさと粛清されてほしいですね。あんなにいい子の未来を死に追いやったのですから、これまでで一番の粛清のされ方をしてほしいです。精神的に追い詰めて、最後に希望なく落としてほしい。
社長令嬢復讐日記　29巻	仲間内でもバチバチ。芸能界ってこんな感じなんだろうなと思いました。お互いに潰しあって、本当に滑稽です。こんなのが人気で、支持されているとか吐き気がしますね。美玲にはさっさと復讐してほしいところです。悔しそうにしていた男性が誰なのかも気になります。
『社長令嬢復讐日記』30巻	こんなに性格悪いのに、本当に朱里の思う通りになっているのに腹が立ちますね。いきなり朱里が辞めるという話になって、美玲が冷静に懐に入り込むのは流石です。
『社長令嬢復讐日記』30巻	そろそろ復讐が始まりそうですね。結構いろんな武器は揃ったでしょうし、一気に晒すときになってきたのかも。未来のストーカーがどんな役割をしてくれるのかも気になります。
『社長令嬢復讐日記』31巻	朱里への復讐が始まりましたが、まだまだここから堕としていきそうですね。復讐が始まった時の美玲の表情がいい味出しています。朱里だけでなく、他の加担していた人たちも続々と裁かれていきそうでワクワクします。
『社長令嬢復讐日記』31巻	裏の顔が晒されたことで、一気に評価が逆転です。美玲はアンコールが始まるといっていましたが、果たしてどんな復讐があるのでしょうか。個人的には未来が生きていても面白そうだと思うのですが、とにかく徹底的にやってほしい。

『社長令嬢復讐日記』32巻	朱里への復讐が終わったのはいいんですけど、それで他のメンバーとか状況がどうなったのかが全く描かれていません。復讐してハイ終わりって、ちょっと雑すぎる気がしました。朱里と一緒にいたアイドルは？そもそもアイドルグループはどうなったの？雑草を刈ることで世間が変わらないなら、雑草を刈っても一緒ではないのかと思いました。
『社長令嬢復讐日記』32巻	アイドルの復讐が終わって、次は美玲の妹の登場です。執事やメイドの反応を見る限り、けっこう問題児そうな性格をしていますね。そんな妹がどんな過激な方法をつかって復讐するのかたのしみです。
『社長令嬢復讐日記』33巻	絵に描いたようなゴミ校長。こんな校長、現実にもいるんでしょうか。中原だけでなく、この校長もきっちり復讐されてほしいですね。とはいえ、麻美のせいで話が悪い方向に進んでいそうです。ここから一気に復讐するのでしょうか。
『社長令嬢復讐日記』33巻	中原の家庭環境も相当やばそうですね。ガチガチに厳しそうだし、そのせいであんな性格になったのでしょうか。中原が引くほど強烈なモンスターペアレンツさがありますし、どんな行動に出るのか楽しみです。
『社長令嬢復讐日記』34巻	見事なモンスターペアレンツ。ここまでひどいのは現実にもなかなかいないのではないでしょうか。というより、こんな小さな事件を、週刊誌があんなに迫るほど報道しようとするでしょうか。中原の母は何か後ろ盾だったり、権力を持っているのかもしれません。そうでもないと、少し不自然です。
『社長令嬢復讐日記』34巻	もはや化け物といってもいいほど、中原の母親は醜いですね。それに対する校長の対応も悪すぎる。ただただ、先生が可哀想です。
『社長令嬢復讐日記』35巻	いやいや、校長騙されやすすぎるでしょ。確かに、可愛いただの女子生徒かもしれませんけど、校長なんだから、もうちょっと警戒心があってもいいと思うのですが。とはいえ、モンスターペアレンツにあんな対応をするような人間ですから、バカなのも納得かもしれません。
『社長令嬢復讐日記』35巻	確かに、手荒な復讐方法かもしれませんが、あれくらいしてもいいですよね。むしろ、美玲のやり方のほうがぬるいくらいです。もっと徹底的に堕とすような復讐をみてみていですね。
『社長令嬢復讐日記』36巻	頭の良くなる水ってなに？って感じでした。本当に中原の母親が気持ち悪すぎて、早く復讐されてほしいです。麻美は過激なんだから、ざっくりと刈り取ってほしい。
『社長令嬢復讐日記』36巻	まさか、また杉本がひどいことをされてしまうとは。これが美玲だったら被害はなかったのでしょうか。中原のあのヤバい雰囲気も気になるし、先が気になります。
『社長令嬢復讐日記』37巻	そろそろ復讐されるのかと思いきや、また三田先生がひどい目に遭ってしまいました。杉本も三田先生もボロボロですよ。ただ、ようやく復讐が始まりそうで、ワクワクしてきました。
『社長令嬢復讐日記』37巻	言動だけならまだしも、ビジュアルも本当に気持ち悪いんですよね。は華原の母親って。もう物語に出てきてほしくないので、次の38巻で綺麗さっぱりいなくなってほしい。
『社長令嬢復讐日記』38巻	まさかの校長の末路に笑っちゃいました。新しい職場であれはなにしてるんでしょうね。校長はなかなかひどい末路だったので、これは中原家の二人に対する復讐も期待できそうです。
『社長令嬢復讐日記』38巻	中原も相当やばい状態ですよね。母親の言いつけを守ったりしてますし、本来は良い子だったのかもしれません。そんな中原がここまで歪んでしまったのは、母親のせいなのでしょう。毒親って恐ろしい。
『社長令嬢復讐日記』39巻	相応の報いですね。これくらいやってくれたほうが復讐漫画って感じがします。これからは麻美が主人公のような形で進むのでしょうか。最初は心配でしたが、普通に復讐を達成してますよね。今後も麻美の復讐が描かれるのかが気になります。
『社長令嬢復讐日記』39巻	次の40巻から作画が変わるようですね。ちょうどいい区切りということでしょうか。どんな作画になるのかが楽しみです。物語も展開が変わったりするんでしょうか。次の章も楽しみです。
『社長令嬢復讐日記』40巻	ホストに騙された女性が今回の救済相手なので、ちょっとこれまでとは違う感じはしますね。これまでは本当にどうしようもない状況でしたが、今回は言ってしまえば、自業自得です。確かに、ホスト側も良くないことをしていたとはいえ、これは睦子側にも問題があるんですよね。ここからどんな復讐をしていくのかは気になるところです。

『社長令嬢復讐日記』40巻	今回から、作画が変わったとのことですが、個人的にはかなり見やすくなったんじゃないかって思います。これまではちょっと見づらいシーンとかはありましたけど、全体的にスッキリとした印象です。麻美のビジュアルも今のほうが好きですね。
『社長令嬢復讐日記』41巻	ホストってお酒に強いイメージがあったんですけど、ここまで一人の女声に飲み負けるでしょうか。麻美らしい派手なやり方ですけど、さすが早乙女って感じです。おめかしした七海は無茶苦茶美人になりましたけど、そんな七海を見て、カイトが何を思ったのかが気になります。さすがに睦子の妹だとは気づかないと思いますが。
『社長令嬢復讐日記』41巻	七海の心境に対して、麻美がすごい共感したり、笑顔で接していましたけど、どこまでが本心なのかは気になりますね。美玲ってひどい目に遭っている人に対してそこまで感情移入していないような感じだったんですよね。本当に淡々と復讐していくというか。それに比べて、麻美は被害者たちにかなり共感しているような感じがします。ただ、復讐さえできれば、被害者たちがどうなろうと気にしていないようにも思えます。
『社長令嬢復讐日記』42巻	七海もなかなかの演技力です。弱気な性格なのに、きちんと姉っぽく演じることができていました。ただ、姉と同じようにカイトに惹かれてしまっているところは、姉と一緒で騙されやすいのかな。その性格が悪い方向に行かなければいいですが。あと、麻美も七海もドレス姿可愛いです。
『社長令嬢復讐日記』42巻	調査に来たものの、あっという間に捕まってしまいました。とはいえ、これは麻美の作戦のうちかもしれません。助けに来た男性がいますが、麻美の手先なんじゃないかと思います。ただ、その場では七海を助けずに、七海の姉が連れて行かれたところを探るために、七海を餌にするんじゃないかと思います。
『社長令嬢復讐日記』43巻	タイミングがいいし、あっという間にカイトを制してしまうし、明らかにこの男、怪しすぎます。まぁ麻美が言っていた通り、裏がある人物だろうし、カイトとも繋がっているのでしょうね。
『社長令嬢復讐日記』43巻	姉妹揃って簡単に騙されそう。麻美は裏表がない性格なので、田舎者って言ったのも蔑むような意味はないのでしょうね。簡単に騙されそうになっている七海をきちんと面倒をみて、麻美は本当に良い子ですね。
『社長令嬢復讐日記』44巻	あっさり騙されすぎてて笑えました。そりぁ悪い人たちのいいカモにされてしまいますよ、これでは。ただ、これで一通り役者は揃った感じなので、麻美が本格的に動きそうでワクワクしてきました。
『社長令嬢復讐日記』44巻	麻美の戦闘力が高めでびっくりしました。不意をついたとはいえ、アレほど簡単にたくさんの男性を制してしまうとは。というより、床をえぐるほど脚力あるとかやりすぎでしょう。遺伝子レベルで、普通の人とは違うのかもしれません。
『社長令嬢復讐日記』45巻	麻美が男性ぶん投げたり、片手で持ちながらバイク運転するとかあまりにも怪力過ぎます。あの高さの建設現場に片手で引きずりながら登れるとかあまりにも人間離れしすぎてます。このへんは漫画だから深く考えないほうがいいのでしょうが、ちょっと気になりました。
『社長令嬢復讐日記』45巻	もう少し悲惨な復讐をするのかと思いきや、あっさり終わっちゃいましたね。燃やすなら高いところから落とすよりも、燃やし続けたほうが苦しいと思いますが。なんだか復讐が雑だなって感じました。
『社長令嬢復讐日記』46巻	いたなら最初から出てきて麻美の代わりに復讐すればいいのに、と外国人部隊の人に対して思いつつも、しっかりスカッとする展開でした。
『社長令嬢復讐日記』46巻	ようやく今回の復讐は終わりそうですが、次はどうなるのか気になりますね。また次の復讐が始まる感じでしょうか。ただ復讐するだけじゃなくて、もっと物語とか設定を深堀りしてほしい感じはしますね。

漫画全巻の部屋
by ㈱グリュックス